

1 前年度 評価結果の概要	・校内研究において、自分の考えを「もつ・深める・伝え合う」過程においての1人1台端末を活用法を探ることができた。しかし、各種調査の結果から見えてきた課題も多い。そこで、今年度は、主体的に学ぶ児童の育成を目指し、授業力向上、学力向上に努めていく。 ・学校全体として、児童は落ち着いた学校生活を送ることができていた。職員一人一人が自分の役割を責任をもつとともに、役割以外の部分でも助け合い支え合いながら、風通しのよい職員間の雰囲気がそうさせたと感じる。加えて、具体的な到達目標を立てたことで取り組みやすくなったと思う。 ・コロナ禍の影響により、P T A活動や総合的な学習等で家庭および地域の方々の協力を得る機会が減少したが、今年度は諸団体、地域の方、保護者の協力体制を維持し、児童の学習活動に積極的、計画的に取り入れて充実した取り組みを行っていく。 ・自然災害や不審者事案、生活事故、交通事故への対応は、常時危機意識をもってレベルアップしていく必要がある。保護者、地域との連携を密にしながら、安心安全な学校運営に全職員一丸となって取り組んでいきたい。
------------------	---

2 学校教育目標	ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成
----------	-------------------------------------

3 本年度の重点目標	1 学力向上（1）主体的な学習者の育成を目指して授業改善を推進し、確かな学力を身に付けさせる （2）学びの土台を作り、学びがつけられるような体制づくり、習慣作りに取り組む。 2 命と人権教育の推進・・・感性を育む読書指導、道徳教育の充実 3 ふるさとを愛する人づくり・・・「公」意識・規範意識の醸成、ふるさと自慢
------------	---

4 重点取組内容・成果指標					中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目											
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○学びをつなげる主体的な学習者の育成」を目指す校内研究の推進	○主体的な学習に関する意識調査で肯定的な回答をした児童・保護者が80％以上(授業研究部) ○自主学習に関する意識調査で肯定的な回答をした児童・保護者が80％以上(学習推進部)	・授業研究部が、主体的な学習に向かうために国語科、算数科における学習指導方法の研究を進める。 ・学習推進部が発達段階や目的に応じた自主学習の方法や内容について提案を行い、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図る。	B	・主体的な学習に関する意識調査で肯定的な回答をした児童が93％、保護者が98％であった。 ・自主学習に関する意識調査で肯定的な回答をした児童が87％であった。しかし、保護者は59％であった。		・		・		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分の学校が好き、楽しい」という児童の割合90％以上	・道徳や朝会、集会活動を中心に、豊かな心を身に付ける指導(愛校心に関する指導)を積極的に行う。 ・自分や友達の長所や学校の魅力を考える授業を工夫して、自尊感情を高めていく。	A	・自分の学校が好き、楽しい」という児童の割合92％達成。 ・人権教室で「ぼかぼかの木」に取り組み。相互理解、自尊感情を高めることができた。		・		・		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90％以上	・毎月「なかよしアンケート」を実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ・毎月、生徒指導、教育相談会議を行い、気になる児童について全職員で共通理解を図る。 ・年2回QUTテストを実施し、比較分析を行う。	A	・いじめの防止等について組織的対応ができていると回答した教員100％達成。 ・気になる児童への共通理解や対応も適切に行うことができている。		・		・		
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90％以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒90％以上	・道徳や他の教科等、神崎市「教育の日」週間で、自分の夢や将来の目標を意識できる教育活動を設定する。 ・教育活動全般を通して、「出番・役割・承認」運動に積極的に取り組むことで、子供たち一人一人の自己肯定感を高める。	A	・「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童生徒91％、「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒96％。 ・学校行事を通して自分の役割に責任をもって取り組んだり、達成したことを認められたりしたことで自尊感情を高めることができた。		・		・		
	○「仁比山っ子のよい子」の徹底	○仁比山っ子の決まりや神崎市四か条の誓いをもとに立てた月目標の達成率85％以上	・月1度の生活朝会で「仁比山っ子のよい子」をもとにした決まりを周知徹底、評価することで児童の情操教育を行う。	B	・仁比山っ子の決まりや神崎市四か条の誓いを意識した指導ができた職員93％であったが、挨拶、無言清掃はよくなっているものの徹底までは至っていない。 ・「仁比山っ子のよい子」の周知徹底、評価の継続。		・		・		
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○手洗いの習慣化とハンカチの携帯90％以上 ○「早寝早起き朝ごはん」に努めている児童80パーセント以上	・衛生習慣の定着と意識向上をめざし、日常的に指導し、定期的に検査をする。 ・通信や学級指導などで規則正しい生活習慣の重要性について啓発する。	A	・規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)を送ることができていると答えた児童生徒と保護者は91％で、概ね達成できている。 ・エチケットタイム点検を週1回取り組んでおり、衛生週間の啓発に取り組んでいる。		・		・		
	○児童の安全意識や危機回避能力の育成	○ヘルメットの着用率、防犯ブザーの携帯率100％ ○交通事故・生活事故発生件数ゼロ	・ヘルメットや防犯ブザー着用・携帯推進について、通信等で保護者への啓発を図る。 ・交通安全教室や学級指導を通して、自転車の乗り方や歩き方の指導を行う。 ・全校朝会や学級指導においてルールとマナーを周知させ、遊具の適切な使い方、室内での過ごし方について継続的に指導し、安全確保に努める。	B	・ヘルメットの着用率が84％、防犯ブザーの携帯率が78％と目標より下回っており、保護者への啓発を行う必要がある。 ・交通安全教室を実施し自転車の乗り方や歩行の仕方の実技訓練を行った。 ・交通事故・生活事故発生件数は0であった。		・		・		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務の効率化を図り退勤時刻を設定(退勤時刻18:30)し、毎月の時間外勤務時間平均35時間以内を目指す。また、定時退勤日を設定し、確実に実施する。	A	・ICTの活用やグループでの協働により業務の効率化を図ることができた。 ・4月～9月の時間外勤務時間は、平均29時間であった。また、定時退勤日は金曜に設定し、ほぼ実施できた。		・		・		
	○信頼される教職員としての意識の向上	○「コンプライアンス意識をもち、服務規律の保持・徹底に努めている」教職員100％	・「服務ゼロの日」を月1回設定し、服務規律の保持徹底について研修を行う。 ・危機管理マニュアルの見直しと報告・連絡・相談・確認の徹底、関係機関と連携する。	A	・「ゼロの日」の研修、職員の交通安全宣言を月1回実施し、服務規律保持への意識を高めることができた。「コンプライアンス意識をもち、服務規律の保持・徹底に努めている」教職員100％であった。 ・報告・連絡・相談により危機管理の未然防止できた。		・		・		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○個の特性に応じた指導・支援の充実 ○SCやSSW、関係機関等との連携	○日常的に児童の様子を細かく観察し、教師間で情報共有し、校内委員会で協議を行う。 ○毎月、SCやSSWと児童の情報を共有する。	・年3回、就学支援委員会等を開き、個別の支援・指導の現状や方向性を確認する。 ・教職員の専門性向上のための研修を行う。 ・必要に応じて専門機関や保護者を交えたケース会議を時機を逃さず実施する。	A	・就学支援委員会を2回開き、来年度の児童の就学先や方向性を話し合い、適切な支援先を共通理解することができた。 ・3回特別支援教育の研修会を行い、指導力向上につなげることができた。・巡回相談を利用し、集団活動が難しい児童の支援方法について話し合い、保護者面談や心理検査等を進め、その後の支援について共通理解を図ることができた。		・		・		

5 総合評価・次年度への展望	・ ・
----------------	--------